

理事長

鈴木 訪子（すずき ことこ）【東京都】

- ・おもちゃ&ボードライブラリーin荒川きき代表
- ・社会福祉法人めだかすとりのいむ 理事
- ・社会福祉法人荒川のぞみの会 監事



きっかけ

荒川区立保育園で保育士として統合保育を担当。退職後、保育園で出会った障害のある子どもをもつ親の会荒川のぞみの会の「学童クラブ」に参加。1982年お母さんたちと一緒に荒川おもちゃ図書館を設立。1986年、「おもちゃ図書館」が荒川区社会福祉協議会運営になり、常設の障害のある子どもも一緒に遊ぶ場が発展。おもちゃ図書館と共に、社会福祉協議会の職員になり、おもちゃ図書館、重度障害者施設あらかわ希望の家、地域ネットワーク課長を経て、現在、地域福祉活動促進専門員として、ボランティア活動の推進に従事。「誰も排除されない地域づくり～すべての子どもたちに生まれてきてよかったと思える人生を」をめざし、おもちゃの図書館全国連絡会の活動に取り組む。

副理事長

小泉 康代（こいずみ やすよ）【埼玉県】

- ・浦和トライブラリーおもちゃ箱所属
- ・社会福祉法人さくら草 理事
- ・NPO法人きりんのゆめ 理事
- ・社会福祉法人めだかすとりのいむ 監事
- ・一般財団法人日本おもちゃ図書館財団 評議員



きっかけ

高校時代にボランティア活動に出会い、社会人になってからも保育ボランティアを続ける中で、障がいのある子ども達と学校等がお休みの日にお出かけするグループに出会いました。その続きにおもちゃ図書館と出会い、現在に至っています。その時々、素敵な先輩に出会いました。おもちゃ図書館で出会えた、素敵な障がいのある方々。（あれから50年）今も何を大切に生きていくか…活動から学んでいます。

副理事長

高村 豊（たかむら ゆたか）【愛知県】

- ・名古屋中村おもちゃ図書館代表
- ・一般社団法人にじのひかり教室 理事
- ・社会福祉法人名古屋市中村区社会福祉協議会 理事
- ・日本パペットセラピー学会 副理事長
- ・日本福祉大学 非常勤講師
- ・重度肢体不自由児水泳療育グループ「らっこの会」顧問



きっかけ

愛知県コロニー内の養護学校に勤務していたころ、障害の重い子のためのおもちゃを考える会をコロニー内の職員で結成していました。メンバーの保母さんが、ロンドンの第一回国際会議に参加して、日本でもおもちゃ図書館活動を広めようということになりました。1979年国際児童年集中行事が愛知県で開催されることになりそこで、「豊かな遊びを広げるおもちゃ展」を1か月間開催しました。それがNHKのニュースで全国的に放映されたこと、展示するおもちゃ集めに協力してくださった小林つ子さんの後押しもあり、おもちゃ図書館活動に深くかわり続けることになりました。愛知では、社会福祉協議会の協力、名古屋青年会議所、主婦による手作りおもちゃ「たねの会」のバックアップもあり今日に至っています。木のおもちゃやパペット（腹話術人形）にこだわっています。

副理事長

松山 明子(まつやま あきこ)【愛媛県】

- ・新居浜市おもちゃ図書館きしゃポツポ代表
- ・新居浜市ボランティア連絡協議会 事務局長



きっかけ

平成7年の春の出会いは格別のものでした。日本おもちゃ図書館財団から育成ハンドブックNo.1おもちゃの図書館《おもちゃの図書館とは何ですか》という黄色い表紙の冊子が送られてきました。

おもちゃの図書館？ なんだらう！

手にとって読むうちに楽しい素敵なボランティア活動であることが分かりました。私の町にもおもちゃ図書館があつたらいいなと思いました。

ちょうどそのころ新居浜市は総合福祉センターの建設が始まった時期で、「市民が活動するのなら市としてはおもちゃ図書館の場所を提供しましょう」ということになり11月1日、25名の市民が集まり、グループ発足、活動が始まりました。翌年の平成8年4月6日総合福祉センターの完成に合わせ開館しました。沢山の出会いがあり嬉しい春となりました。そしておもちゃの図書館全国連絡会に入会させていただき、今日まで活動することが出来ました。

専務理事

浅野 芳明(あさの よしあき)【東京都】

- ・元荒川区社会福祉協議会ボランティアセンター長
- ・日本福祉大学 非常勤講師



きっかけ

福祉とはまったく縁のない仕事を40歳を過ぎて辞め、日本福祉大学(通信学部)に入学、実習生として鈴木訪子さんが勤める荒川区社会福祉協議会に。その際に、荒川おもちゃ図書館に出会う。縁があり、その後、荒川区社会福祉協議会のボランティアセンターに勤務、現在に至る。鈴木訪子さんに騙され？、あれよあれよと、気がつけば、世話人に、その後、NPO法人化に関わり、現在に至る。東日本大震災以降、全国のおもちゃ図書館の仲間たちといっしょに支援活動をした体験が、活動の源となっている。

理事

青塚 和子(あおづか かずこ)【埼玉県】

- ・戸田市おもちゃ図書館グループびっくりばこ代表
- ・元戸田市社会福祉協議会ボランティアセンター勤務

メッセージ

一人でもおもちゃで遊びたい障害児がいれば、開館したいですね。でもだれも来ない日もありますが、そんな日はどこかで楽しんでいる、と思っています。



きっかけ

図書館パートの時、書架整理(休館日に実施)で本の図書館以外におもちゃ図書館があるのを知った。数年後、社会福祉協議会の職員になったら、おもちゃ図書館の資料が送られてくるではないか、上司に話すと、「やってみたら」と言う。近隣の図書館に連絡を取り見学、知り合いの子どもに障害があったことから開館することとなった。開館の初日おもちゃを持った彼女の笑顔が忘れられない。

理事

岸 節子(きし せつこ) 【千葉県】

- ・佐倉おもちゃ図書館代表
- ・「木のおもちゃマザームーン」スタッフ

きっかけ

元東京都立養護学校・都立高校教諭。養護学校勤務のころおもちゃ図書館を知り障がいを持つ子にとってのおもちゃの力に驚く。千葉に転居後、佐倉おもちゃ図書館に参加。現三代目代表。

おもちゃコンサルタント（認定NPO法人芸術と遊び創造協会認定資格）

理事

篠原 敬子(しのはら けいこ) 【福岡県】

- ・おもちゃの図書館おもちゃの家でんでんむし所属
- ・社会福祉法人青いりんごの会 監事
- ・一般社団法人 日本児童文学者協会 会員



きっかけ

子ども達に通っている幼稚園は、その頃には珍しく統合保育を実践している園でした。そこで、障がいをもっている男の子と、おかあさんとの出会いが、きっかけでした。彼女の熱い思い「地域で遊ぶ場がない」「同じ子ども達にも知って欲しい、いろいろな個性の子がいるって事」ただその時は、おもちゃの図書館の事は知りませんでした。

福岡市社協のボランティアセンターに彼女や、何かしようと賛同してくれた初期メンバーで相談に行くと、ちょっと前におもちゃ図書館（それが「ぼけっと」さんです）が福岡市に出来た事を知りました。これよ！これ！・・・で、でんでんむし誕生。紆余曲折ありましたが、歴代の代表者がそれぞれの個性でまとめてくれ33年たちました。

あの時の男の子もすっかり中年の男性！わたし達もおばあちゃんと呼ばれ始めました。

理事

千葉 礼子(ちば れいこ) 【宮城県】

- ・ひかりおもちゃ図書館代表
- ・秋田県立秋田養護学校栗田分校、比内養護学校、宮城県塩釜市立見ヶ丘小学校わかさ学級にて約7年間講師として勤務。現在は、公文式泉沢教室、鶴ヶ谷教室経営



きっかけ

1984年12月、仙台ひかりおもちゃ図書館は、教会の信者さんのダウン症の圭君が地域のお友達と一緒に遊べるようにと、開館されました。翌年夏、教会の司祭さんに「ボランティアで手遊びしに来て」と誘われたのが、きっかけです。それから、3人の子育て、仕事をしながら、仲間に助けられながら、35年間おもちゃ図書館活動を、続けてきました。開館は毎週水曜日から、毎月第二土曜の月1の開館になりましたが、子ども達とママ達の笑顔が、活動を続ける原動力です。